福井県とスポーツツーリズム

福井県立武生高等学校

【動機】

・福井県を観光の面から盛り上げたい！
　→北陸新幹線敦賀延伸（2024春） 大きなチャンス

・日本全体で**人口減少**
　→人口増加を目指す：難しい
　　代わりに… **交流人口**増加を目指す

・「スポーツ×観光」で活性化している例を発見
　（スポーツツーリズム）

【問い】

スポーツツーリズムの観点から考える
　　福井県の観光における課題とは

【目的】

スポーツと県内産業（観光業）をコラボ
交流人口増加へ

【研究の流れ】

①先行研究・論文・文献調査
→J-STAGEで調査
キーワード：スポーツツーリズム、観光

②インタビュー
→大阪体育大学　原田宗彦先生
専門：スポーツビジネス

③実例調査
→県外事例を対象にスポーツツーリズムで
成功している地域・自治体について調査

④課題考察
→調査で得られたデータをもとに
福井県の課題を考察

【調査結果】

①先行研究・論文・文献調査

・スポーツツーリズム

→**交流人口の増減**や、**地域活性化**に影響

スポーツツーリズムの定義

「**能動的か受動的かを問わない**、偶発的または計画的で、かつ非商業的ないしビジネス/商業的な理由において、必然的に自宅や仕事の場所から離れて旅行することを要する**全てのスポーツ活動への参加**形態」

・スポーツツーリズムの課題

→スポーツビジネスに対する**自治体の積極的支援**
地域活性化の視点からの**観光施策**

・スポーツツーリズムの領域

→アトラクション、リゾート、アドベンチャー、ツアー、イベント

この研究では領域ごとに各事例をピックアップして調査

②インタビュー

大阪体育大学　原田宗彦先生（スポーツビジネス）

目的：調査内容の確認
　　近年の現状や研究の調査

・**自治体**や**企業**との関係が大切

・スポーツとまちづくり、観光は**親和性**が高い

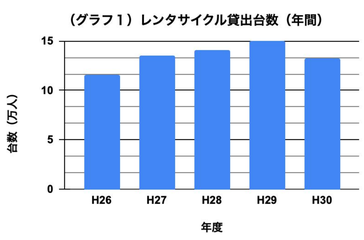
・SNSの活用方法（集客）

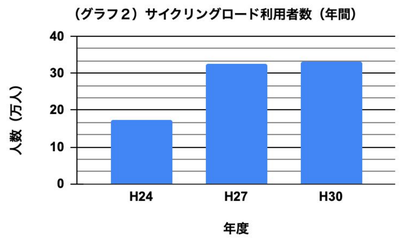
③実例調査

アドベンチャー領域→しまなみ海道（今治市・尾道市）

（表1）レンタサイクル保有台数（年間）

	1999年	2023年
台数	636	1000以上





出典：国土交通省HP

設備の充実が利用者数増加の鍵に？

（表2）福井県嶺北　レンタサイクル保有台数

貸出箇所数	保有台数	うちスポーツタイプ
53	429	19

出典：福井県HP

福井県はまだまだ設備不足

導入コストを考えつつ、将来の整備計画に活かすべき！

イベント→吉野川中流域（三好市・大豊町）

ラフティング世界選手権2017の開催時に
ビッグデータ収集

大会後の**観光施策**に活かす

アプリ画面の一例　引用：日本電気株式会社HP

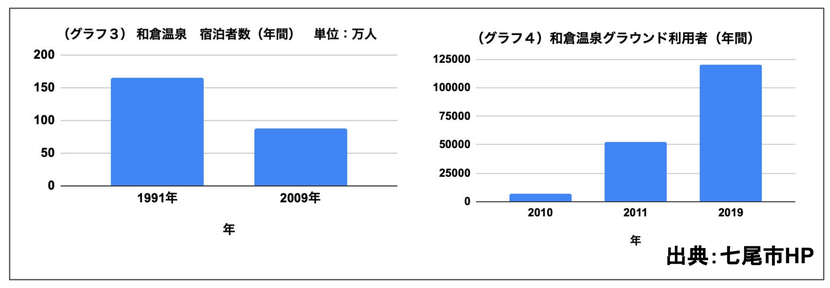
一過性のスポーツイベントから
「スポーツ×観光」のまちへ！

福井県でも2018年福井国体などの
大規模スポーツイベント開催実績あり

国体時は公式アプリで観光情報の発信
→観戦ガイドの意味合いが強かった

ICTの活用で将来の観光の魅力をUP

リゾート→和倉温泉（七尾市）



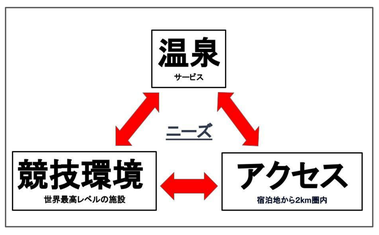
出典：七尾市HP

約20年で宿泊客数が半分以下に

グランド利用者増に伴い、宿泊客数も回復

民間団体→体育施設建設の陳情

赤エリア：宿泊施設
　⬇ 2km圏内
青エリア：和倉温泉運動公園



合宿利用者のニーズに合わせる
→宿泊客数増加へ

福井県では　宿泊施設と体育施設の距離→**遠**
県内体育施設との連携→**不十分**

将来の整備計画に取り入れるべきでは？

【今後の課題】

・5つの領域のうち、データ不足等のため3つの領域でしか調査できなかったこと
・1つの領域に対する調査例を増やすこと

【参考文献】

二宮浩彰（2009）「日本におけるスポーツ・ツーリズムの諸相:スポーツ・ツーリズム動的モデルの構築」『同志社スポーツ健康科学』
小松雅樹ほか（2022）「観光経営学視点からみた国内スポーツツーリズム研究動向に関する考察」『スポーツマネジメント研究』14
望月徹（2019）「しまなみ海道におけるサイクルツーリズム振興の一考察　―その広域連携の構造と機能について―」『日本国際観光学会論文集』26
山口志郎ほか（2018）「中山間地域における持続可能なスポーツツーリズムの発展　―吉野川のアウトドアスポーツを事例に―」
『生涯スポーツ学研究』14
手嶋真彦.“温泉街をスポーツ合宿の聖地に。“掛け替えのない空間づくり”に邁進する男の物語”.サッカーダイジェストWEB.2022-6-25
https://www.soccerdigestweb.com/news/detail/id=111999

【考察・まとめ】

スポーツツーリズムの観点から考える福井県の観光における課題は

課題1　設備の不足

課題2　ICTの活用

課題3　宿泊施設と体育施設の距離

が挙げられる